

テスト名	IELTS (International English Language Testing System)			
1. 運営事業団体	British Council, IDP Education, IELTSオーストラリア, ケンブリッジ大学ESOL, 日本英語検定協会			
2. テスト作成母体	ケンブリッジ大学ESOL			
3. 主たる受験対象者	イギリス・オーストラリア・ニュージーランド・カナダへの留学を目指す学習者			
4. 目的	Academic module: 専門領域での大学院留学を想定した専門英語能力を測定する General training module: 語学留学や就業準備を想定した一般英語能力を測定する			
5. 構成概念の構成(測定する能力)	Listening	Reading	Speaking	Writing
	話の要点や特定の情報を聞き取る能力、話者の意図や姿勢、目的を理解する力、議論の展開についていく能力	文章の要点や趣旨、詳細を把握する力、言外の意味を読み取る力、筆者の意図や姿勢、目的を理解する力、議論の展開についていく能力	質問に答えながら、日常の話題や出来事について情報を伝え、意見を述べるコミュニケーション能力、与えられたトピックに関して適切な言葉使いと一貫性を持って、ある程度の長さのスピーチをする能力、説得力のある意見を述べ、物事を分析、議論、推測する能力	Academic: Task 1では、データを分析・比較し、それを説明する能力、もしくは物事の過程や手順を説明する能力。Task 2では、ある問題に対してどのような意見を持っているかを説明する時、根拠や例を挙げて比較検討しながら、筋道を立てて自分の主張を展開し、説得力をもたせる能力 General training: Task 1では、私的な文書を書く課題において、必要な情報を盛り込み、要求や希望、意見や不満などを表現する能力。Task 2では、必要な情報を記述したり、問題を提示し、その解決策を示す能力、自分の主張を述べ、説得力を持たせる能力、また意見や根拠、論点を正しく評価し、反論する能力
6. テストの性質(テキスト・タスクの性質など)	セクション1: 日常生活における2人の人物による会話(宿泊施設の予約など) セクション2: 日常生活におけるモノログ(地域の施設に関する描写、食事の手配に関する説明など) セクション3: 教育の現場における複数(最大4名)の人物間(課題について話し合う大学の指導教官と生徒、研究計画について議論する学生など)の会話 セクション4: 学術的なテーマに関するモノログ(大学の講義など) リスニングテストの音声は、1度しか流れない。音声を聞く前に、問題文を読む時間が与えられる。リスニングテストの後に10分間、解答を解答用紙に書き写す時間が与えられる。	Academic: 合計3つの長文が出題される。文章は書籍、専門誌、雑誌、新聞などからの抜粋で、学術的なトピックに関して一般読者向けに書かれている。内容は大学や大学院に進学を予定している受験者もしくは就職を希望している受験者を対象としている。文章は、描写文や事実を述べた文、色々な見解が書かれた文から物事を分析したものなどさまざまで、図形やグラフ、イラストなどが含まれる場合もある。専門用語が使用されている場合は、簡単な注釈がつく General training: セクション1: 2~3の短文が出題される。短文は、同じトピックを扱ったさらに短い6~8つの文(ホテルの広告など)で構成されることもある。題材は英語圏での日常生活に関連している。 セクション2: 仕事に関連した2つの短文(仕事への応募、企業方針、給与や労働条件、職場環境、人材育成と研修など)が出題される セクション3: 一般的なトピックを扱った比較的長めで複雑な文章が出題される	パート1 自己紹介と日常生活に関する質問(4~5分) 試験官が自己紹介をした後、受験者の名前を尋ね、本人確認をする。その後、試験官から家族、仕事、勉強、趣味などの一般的なトピックについて質問される パート2 スピーチ(3~4分) 試験官からトピックと言及すべきポイントが書かれたカード(Task card)が渡される。受験者には1分間の準備時間とメモを取るための鉛筆と紙が与えられる。その後、1~2分間のスピーチを行い、スピーチの後には、試験官から同じトピックについて1~2つ質問される パート3 ディスカッション(4~5分) 試験官からパート2のトピックについて、より掘り下げた質問がされる。受験者はトピックについてより深く自分の考えを述べるができる	Task 1: グラフや表、図形を分析し、自分の言葉で説明する。また、物事の過程や手順の説明を問われることもある Task 2: ある主張や問題についてエッセーを書く。出題されるのは、大学や大学院に進学を予定している受験者もしくは就職を希望している受験者を対象とした一般的な題材になっている。どちらのTaskでも改まった文体で書くことが要求される Task 1: 与えられた状況に合わせて、情報を求めたり、立場を説明する手紙を書く。内容は個人的なものである場合もあれば、よりフォーマルな文体を求められる場合もある Task 2: ある見解や議論、問題についてエッセーを書く。アカデミック・ライティングのTask 2ほど改まった文体は要求されない。
7. 採点基準	2値的(正解1/不正解0)	2値的(正解1/不正解0)	IELTSの認定試験官によって、4つの評価基準(流暢さと一貫性、語彙力、文法力、発音)に基づいて採点される	IELTSの認定試験官によって、4つの評価基準(質問に適切にこたえているか、一貫性はあるか、語彙力、文法力)に基づいて採点される。Task 2の配点はTask 1の2倍になっている
8. 項目数	40項目	40項目	3項目	2項目
9. 得点	0~9バンドまでの0.5刻み。4技能それぞれの得点バンド+総合得点バンド(4技能の平均。例えば平均が4.25を超えると4.5となり、4.75を超えると5.0となる) 9(Expert user)十分に英語を駆使する能力を有している。適切、正確かつ流暢で、完全な理解力もある。 8(Very good user)時折、非体系的な不正確さや不適切さがみられるものの、十分に英語を駆使する能力を有している。慣れない状況においては、誤解が生ずることもありえる。込み入った議論に、うまく対応できる。 7(Good user)時折、不正確さや不適切さがみられ、また状況によっては誤解が生ずる可能性もあるが、英語を駆使する能力を有している。複雑な言語も概して上手く扱っており、詳細な論理を理解している。 6(Competent user)不正確さ、不適切さ、および誤解がいくらか見られるものの、概して効果的に英語を駆使する能力を有している。特に、慣れた状況においては、かなり複雑な言語を使いこなすことができる。 5(Modest user)部分的に英語を駆使する能力を有しており、大概の状況において全体的な意味をつかむことができる。ただし、多くの間違いを犯すことも予想される。自身の分野においては、基本的なコミュニケーションを行うことができる。 4(Limited user)慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁にみられる。複雑な言語は使用できない。 3(Extremely limited user)非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができる。コミュニケーションが頻繁に途絶える。 2(Intermittent user)確実なコミュニケーションを行うことは不可能。慣れた状況下で、その場の必要性に対処するため、極めて基本的な情報を単語の羅列や短い定型句を用いて伝えることしかできない。英語による会話、および(Non user)いくつかの単語を羅列して用いることしかできず、基本的に英語を使用する能力を有していない。			
10. 受験時間	30分+解答時間10分	60分	20分	60分
11. 受験者数	約140万人			
12. 受験料	24,675円			
13. ウェブサイト	http://www.ielts.org/ (採点基準の詳細: http://ielts.org/researchers/score_processing_and_reporting.aspx)			
14. その他(変化・特徴など)	2010年から日本英語検定協会との共同運営に移行し、受験申込や結果通知の受領は英検を通すことも可能になった。2012年から本人審査システムが厳格になった。「パスポート登録」「指紋登録」「顔写真撮影」が必要になった。			

Band	Linguistically demanding academic courses	Linguistically less demanding academic courses	Linguistically demanding training courses	Linguistically less demanding training courses
9.0-7.5	e.g. Medicine, Law, Linguistics, Journalism, Library Studies	e.g. Agriculture, Pure Mathematics, Technology, Computer-based work, Telecommunications	e.g. Air Traffic Control, Engineering, Pure/Applied Sciences, Industrial Safety	e.g. Animal Husbandry, Catering, Fire Services
7	Acceptable	Acceptable	Acceptable	Acceptable
6.5	Probably acceptable	Probably acceptable	Acceptable	Acceptable
6	English study needed	Probably acceptable	Acceptable	Acceptable
5.5	English study needed	English study needed	Probably acceptable	Acceptable
5	English study needed	English study needed	English study needed	Probably acceptable

* 留学に必要なスコアは5.5ぐらゐから平均は6.0のようである。また難関大学や言語教育系の大学では6.5以上が求められる(A.H.)